

平成28年度 2月定例会会議録

- ◎招集年月日 平成29年2月13日（月）
◎開催日時 平成29年2月23日（木） 午後1時15分～午後3時34分
- ◎場 所 伊那公民館 研修室2
◎出席委員 松田教育委員長、宮脇職務代理者、田畑教育委員、原田教育委員
◎欠席委員 なし
◎出席職員 北原教育長、大住教育次長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、唐木指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 委員のひと言

- ・資料に基づき教育長発表

4 会議事項

第1 教育長報告

- ・資料に基づき教育長説明
- ・委員長から、ものづくりコンテストで厚生労働大臣賞を受賞した長谷中学校2年生の羽場君は、隣家のお子さんと、先日、コンテストに臨むにあたり作成した習作を使ってほしいと持ってきてくれた。次回教育委員会には、皆さんに見ていただきたい。製作の難易度が高く、こんな作品がよく中学2年生にできるなあと感心させられる出来栄であるとの発言があった。
- ・また、伊那小学校の公開学習指導研究会では、義務教育で長年教壇に立たれてきた畔上先生による講演内容が素晴らしく、教育哲学とは何ぞやと問われたら、「総合に生きる」というこの講演に集約されると感じた。伊那小教育を更に高めていただいたとの感想が述べられた。
- ・さらに、高遠高校の書道課程では、偉ぶるところがなく謙虚で、素晴らしい字を書かれる泉石心先生の指導力が大きいと思う。そうした先生のお人柄に子どもたちが心惹かれ、書に打ち込んでいるのではないかと思うとの発言があった。

第2 報告事項

(1) 平成29年度主要事業の概要について

- ・資料に基づき教育次長、各課長説明
- ・委員長から、伊那市は、教員住宅の維持管理について将来的にどう考えているか

質問があり、教育次長より、21校分の教頭住宅分は確保したうえで、残りは市営住宅や移住者用の住宅として、教員住宅とは切り離していくという方向であるとの説明があった。

- ・委員長から、人権同和教育推進協議会の折りに美篤小学校からQU検査の実施について、低学年へ拡大してほしいとの要望が出たがどうか質問が出され、教育次長より、予算上は、高学年対象の年2回分となるとの説明があった。
- ・委員長から、中学校の要保護の補助に関連し、前市議会で制服のリユース等に取り組んでどうかとの質問があり検討課題となっていた。これについてどう考えているか質問が出され、教育長より、中学校では、長谷中を除いて全てリユース体制が整った。長谷中は小規模校のため、個々の卒業生からの個別の対応を予定しており、これを含め、全校体制ができているとの説明があった。
- ・委員長から、今年度のリユース実施状況を示すよう指示があった。
- ・委員長から、今年は文化振興課5館連携で、「中村不折生誕150周年事業」に取り組んだが、次年度以降、連携事業の構想があるか質問が出され、文化振興課長より、今年度並みの事業は予定していないが、例えば、伊澤修二記念音楽祭に合わせ各館で関係史料を展示するなど計画したい。今月11日には伊澤修二記念音楽祭30周年で、創造館で講演会と藝大生による弦楽四重奏、手持ち史料によるパネル展示を行った。他の連携も折に触れ工夫しながらやっていきたいとの説明があった。
- ・教育長から、伊澤修二について、今年は没後100年にあたり、そんなことも視野に入れ取り組んでいきたいとの発言があった。
- ・委員長から、藝大との連携における邦楽指導の取り組みは、郷土芸能に藝大が関わることになり、従来の小中高の枠組みを超え一般社会へと範囲を広める素晴らしい視点であり、是非推進してほしいとの発言があり、生涯学習課長より、藝大からも是非やりたいという話をいただいております、地元と調整し実施していきたいとの説明があった。
- ・委員長から、中尾歌舞伎が保存会の会議で、会員の減少や病気等を理由に、4月の春季公演、10月の秋季公演を含め、29年度の活動を休止するという発表があった。年間600人の観光客を集める伊那市の観光のメイン行事のひとつであり、多くのPRや広報もなされているなかで、公演されないということになると非常にダメージが大きい。一度活動を休止した場合、再度立ち上げるのは相当困難であり、相談はなかったか質問があり、生涯学習課長より、相談はない。無形民俗文化財は生涯学習課が担当になるが、基本的に保存会の活動として情報発信されてきており、ほとんど連携を取ってきていない。観光サイドとの連携が多かったと思うが、話があれば教育委員会ですることはやっていくとの説明があった。
- ・委員長から、過去には、大鹿歌舞伎の方に三味線指導してもらったこともあり、周りからの支援が必要。2～3年活動休止すれば再開は難しいとの発言があり、生涯学習課長より、東京藝術大学の邦楽指導では、対象として高速囃子を想定していたが、三味線や鼓など、日本古来の音楽、楽器を指導していただく。広く市内に呼びかけ、そうした楽器の習得、音の出し方など、基本的な指導をしてもらうのがよいのではないかと、藝大の邦楽指導について、方策を考えてみるとの説明

があった。

- ・委員長から、学校給食運営で、本格的な農業体験を組み入れた「暮らしのなかの食」の300万円はどんな内容か質問があり、教育次長より、例年同様の種子、肥料、消耗品、原材料、備品等の購入費であるとの説明があった。
- ・教育次長より、美術館で美術大学との連携事業を調整中で、確定していないものの、東京藝大の学生に伊那市に来てもらい、市で借り受けた古民家を藝大で芸術作品として改修してもらうことを計画しているとの説明があった。
- ・委員長より、非常に内容の濃い主要事業であり着実に推進してほしいとの発言があった。

(2) 年度末休業特別学童クラブについて

(3) 年度末休業特別街頭補導について

- ・資料に基づき生涯学習課長説明
(質疑なし)

(4) 長野県ロードレース伊那大会について

(5) 春の高校伊那駅伝について

- ・資料に基づきスポーツ振興課長説明
- ・委員長から、春の高校伊那駅伝の男子第3中継所の東部農協のガソリンスタンド前の側溝に蓋がなく危険なので確認しておくよう指示があった。

(6) 共催・後援について

- ・資料に基づき教育次長説明
(質疑なし)

(13) その他

① 公民館長と教育委員との懇談について

- ・口頭で生涯学習課長説明
- ・委員長から、教育委員会は公民館、社会教育について職務権限を持っており、公民館長の活動報告等を聞いているだけでなく、質問したり意見を述べたりしないと懇談会を持つ意味がない。活発な意見交換をお願いしたいとの発言があった。

② 伊那市キャリア教育推進委員の推薦について

- ・資料に基づき教育次長説明
- ・委員長が諮ったところ田畑委員を継続して推薦することとなった。

③ 総合教育会議の協議事項について

- ・口頭で教育次長説明
- ・調整の結果、「暮らしのなかの食」、中村家を中心とした高遠の物語の2点を、教育委員会から提案していくことになった。

5 その他（教育次長）

（1）3月の日程について

（2）4月以降の主な日程について

- ・着任校長辞令交付、着任校長告辞 4月3日（月）午前7時50分
- ・小中学校入学式 4月 5日（水）、6日（木）
- ・校長会 4月18日（火）午前9時00分
- ・4月定例会 4月28日（金）午前9時00分
- ・5月臨時会 5月17日（水）午後4時30分
- ・5月定例会 5月31日（水）午後3時00分
- ・6月定例会 6月28日（水）午後3時00分

6 閉 会